

明治大学 2019 年度【夏期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修先名	マクマスター大学
所 属	農学部農芸化学科 2年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

研修先での授業は、午前中の ESL のクラス、午後の Tutorial のクラス、夕方からの Evening Class の 3 つありました。ESL では主に実践的なライティングとプレゼン発表を中心に先生が授業をしてくださり、相手に分かりやすくかつ自分の意見を明確に伝える為の英語の書き方を学びました。先生が丁寧に添削してくださったことで自分の課題を発見する良い機会になりました。また午後のクラスではディベートを行い、英語で伝える力やその場でとっさに意見をまとめ発表する力を身につけることが出来ました。また、学生 TA の方々との会話を通してスピーキング力を高める Evening Class では自分の力をアウトプットする貴重なトレーニングになりました。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

休日には Evening Class で親しくなった TA の方々とも一緒に皆でトロント観光やナイアガラの滝に行きました。トロントは多くの人々が行き交う活気に溢れた街でしたが、現地庁舎と旧市庁舎が隣に並んでいたり、とても古い映画館や目に鮮やかなウォールアートがあったりと歴史的な一面と現代の文化が上手く混じりあっているところが印象的でした。また、夏のカナダは 20 時ごろまで明るいのに関わらず、飲食店以外のほとんどのお店は夕方 17 時くらいで閉店しているところに驚きました。ナイアガラの滝では想像以上のスケールの滝に圧倒されカナダの自然の雄大さを肌で感じる事が出来ました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

現地では大学内の学生寮に滞在していました。寮にはキッチンや電子レンジなどはありませんでしたが、お皿や調理器具、洗面系を含む生活用品がほとんど無かったので購入しなければなりません。食費や観光の費用もあり、予算が足りるか心配になりましたが奨学金をいただいたおかげで必要なものを購入することができ現地での生活をとても充実したものにすることが出来ました。ありがとうございました。また、授業が早く終わった日にはバスを使って近くのダウンタウンへ買い物や美術館に行き自分の肌で現地の生活に触れました。放課後などは自由時間があり、自分たちで計画して大学周辺を散策できたことが楽しかったです。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

留学前から英語を通して自分の意見を発信し、また様々な人の考え方に触れて世界中のどんな人々とも交流できるような人になりたいという目標がありました。しかしその明確なイメージや自分の英語力がどの程度であるのかは把握できていませんでした。今回のマクマスター大学での研修では自分の英語に対しての課題を発見することが出来たり、逆に自分の話した英語が通じた時や意見が伝わった時に理解してもらえ嬉しさを感じました。このことで英語を使うということは、単なるテクニックだけではないことを改めて実感しました。また実際にカナダで現地の大学生と交流し、同世代の彼らが想像以上に勉強熱心であったことや勉強以外のことに関しても全力で取り組み楽しむ姿勢やその考え方、文化に触れ刺激を受けました。自分の目で見て感じた経験が私の何よりの財産です。この経験を糧に今後も英語学習を続け、その精度を高めるとともに、自分の軸を持ちつつ広い視野を持った人になれるよう努力していきたいです。

写真貼付 (1 枚)

マクマスター大学の正面にて。キャンパス内はとても広クリヤウサギも見かけました。緑豊かで公園のようなキャンパスで充実した生活を送りました。



【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。